

# 豊岡商工案内

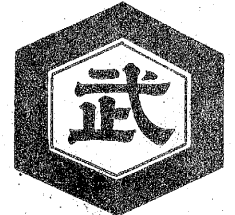
1900年～1901年



10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

花は 木から  
お醬 油は  
キツア

領受牌金博和平鈴



特約店

埼玉県豊岡町

醸造元 繁田醤油店

埼玉県 豊岡町 五三番地  
中野長兵衛 代理店

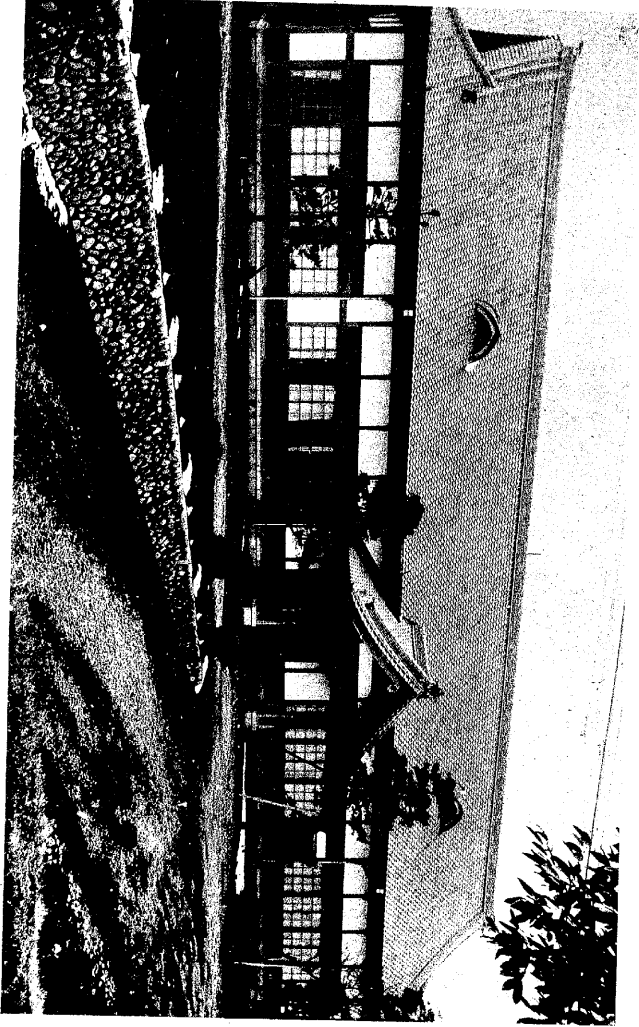
株式会社 中野長兵衛

中野長兵衛

TY

L670.3-7

公 會 堂



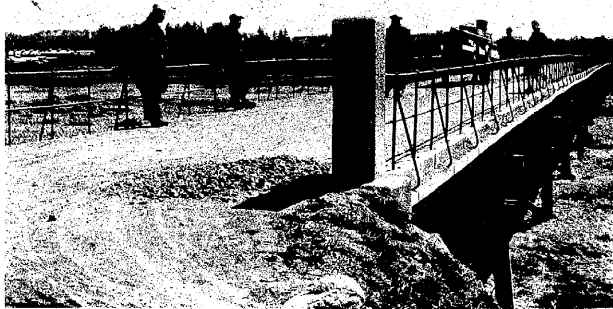




黑須觀音堂



寂連法師墓及袈裟懸之大槻



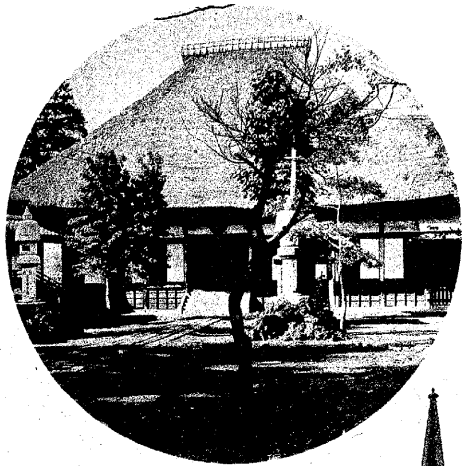
(間十八百長) 橋水豊



街市屋町扇

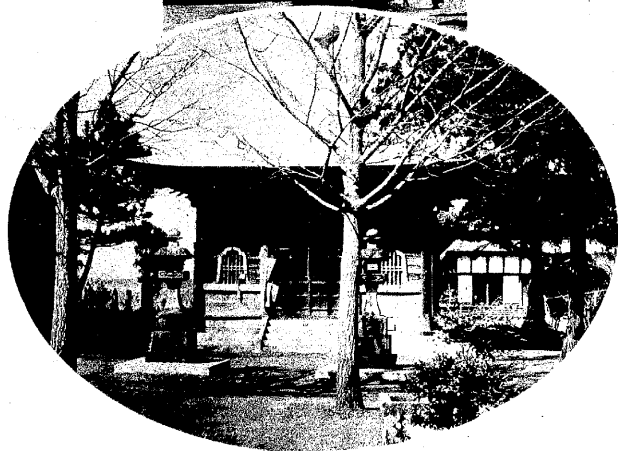


街市須黑

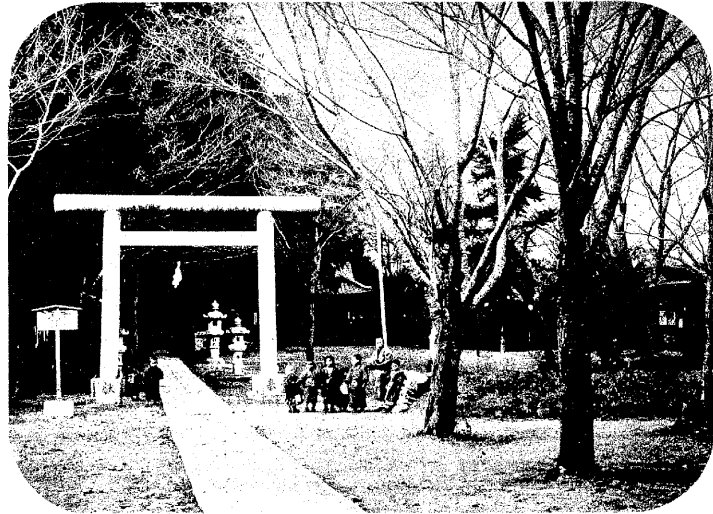


光福山甲子大黒天

メソヂスト豊岡教會



堂音觀倉高



社神日春



社神宕愛

御野立所ヨリ入間河原ヲ望ム



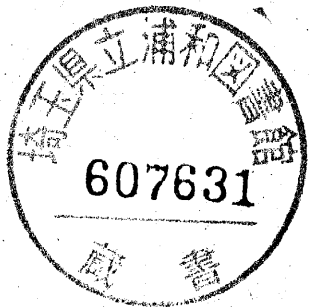
氷川神社



久保稻利神社

### 豊岡商工業案内目次

- ◎表紙 春の豊岡公會堂 織田信大畫伯筆
- ◎口繪 公會堂 市街 觀音堂 寂蓮法師ノ基ト大槻 豊水橋 春日神社 愛宕神社 甲子大黒天 メンヂェスト教會 高倉觀音堂 御野立所 氷川神社 久保稻荷神社
- ◎第一章 豊岡町の地理 (一)
- 一、位置 二、地勢 三、交通 (三)
- ◎第二章 商業 (三)
- 一、はしがき 二、繭市 三、茶市 四、米穀と青物市 五、呉服類と洋物雜貨 六、金融機關 七、其の他の商業 八、豊岡の名物
- ◎第三章 工業 (七)
- 一、はしがき 二、製絲 三、醬油 四、織物 五、酒と味噌 六、雛人形 七、製茶と製麥 八、其他の工業
- ◎附録 名勝舊蹟 (一一)
- 一、長泉寺の大黒天 二、根本山の星祭 三、久保の稻荷社 四、愛宕神社 五、十三塚一六、上野原の地藏尊 七、大將陣 八、淺間山 九、高倉寺の觀音堂 一〇、蓮花院の寂蓮碑 一一、觀音堂と鱒口 一二、入間川と豊水橋



# 豊岡商工案内

## 第一章 豊岡町の地理

### 一、位置

我が豊岡町は埼玉縣入間郡に屬し、川越市の南西約三里、所澤町の西北二里半に在つて、東京へ十二里、浦和の埼玉縣廳へ八里二十七町の距離を保ち飛行機に其名も高き所澤町、薩摩芋の譽も廣き川越市、絹織物で聞えたる飯能町の間に介在して、一小市街をなして居る。

### 二、地勢

本町は武藏野の末秩父嶺の裾に地を占めて居るから地勢は一様でない。扇町屋、黒須、高倉、善藏新田の四大字は、自然的に地勢を異にし、高倉は丘陵の上に位して高く、黒須は丘下にあるを以つて低い。故に高倉の水は黒須に注ぎ、黒須の煤烟は時に高倉の空を冒するのである。扇町屋

と善藏新田とは、概して平坦なる地位を占め黒須より高くして爽かである。

霞川は町の中部を貫流する小河で、之れに架した霞橋は納涼の名所として有名である。

扇町屋と黒須との間に坂がある。新町組織以前は、老人や小供は往復に困難を感じ、車力や荷馬などには玉の汗を流させたものであるが今は三十分の一の勾配で跛鼈も易々として上る事が出来る。ただ窓には両側に鱗次する店舗がほしいのである。

### 三、交通

大宮東京道、松山八王子道、川越青梅道、豊岡入曾道、入間川成木道の五縣道が通じて居るから交通は便利である。殊に武藏野鐵道の停車場が置かれてあるから全國著名の地には他町村の地を踏ます。直に車窓内の人となつて山河の景を賞しつゝ旅行することが出来る。尙ほ武藏野線は

目下電化工事に着手し居る故完成の上は交通上の面目を一新する譯である。又飯能、入間川、青梅等には乗合自動車の便もあるのである。

## 第二章 商業

### 一、はしがき

扇町屋宿は徳川幕府の頃より八王子からの日光街道、秩父からの江戸街道に當り相當に榮えた宿場であつた。旅客の來往は言ふに及ばず、市場としては穀類と青物とで近郷に鳴り響いて居つた。然るに其後川越鐵道の開通によりて、交通上の革命を生じ其の打撃によつて、幾分沈衰するに至つたが、最近武藏野線の開通により一生面を開いた。併し茲に一つ昔の悌に新たなる色彩を添へて誇を保つて居るのは扇町屋の

### 二、繭市

である。最近一ヶ年集散高は廿萬貫で價格は貳百萬圓に達せんとして居

る。『川越や青梅には繭が一粒もなくなつても扇町屋の市は繭賣で埋る様だ』と言はれる位盛である。六月初旬より十月の下旬まで賣手は地方から續々扇町屋に集り、買手は縣内は勿論遠くは甲州、信州等より數十人も來るといふ盛況である。有名なる繭問屋としては小松屋、松島、豊岡繭絲製茶株式會社、黒須の黒須市場等がある。

### 三、茶業

繭に次いで有名なものは茶業である。狭山茶の總産額の内四割は當町にて集散し、其の數量に於いて縣下第一のみならず、當町に於ける茶の相場は全國の茶業家から重要視されて居る。製茶業は繁田園の先代滿義翁が明治八年狭山會社を起し米國に直輸出の道を開かれてから次第に發展し現主武平氏の努力と相待つて、今日の盛大を致して居るのである。茶業家には繁田園、石川組製茶部、齋藤徳三氏等がある。就中黒須市場の製茶取引は三萬貫に及び、茶市場として大いに世の注目を惹いて居る。

### 四、米穀と青物市

扇町屋の穀市は今日に於ては殆ど休止の状態にあるが、有力なる米穀業者が多く存して、金額八十萬圓に達し、川越米の青梅、飯能方面に至る仲繼所として重きをなして居る。

扇町屋の青物市は今尙相當なる盛況を呈し、夏季の野菜、秋季の甘藷其の他四季折々の珍菜が取引されて居る。

### 五、呉服類と洋物雜貨

鐵道の便に久しく恵れなかつた本町も、武藏野線の開通と共に商業は急激なる發展をなして、各種の商賈が續々現はれ、呉服商の如きは十軒にも垂んとし、洋物雜貨荒物商も數十軒を數ふるに至つた。

### 六、金融機關

銀行としては坂戸銀行扇町屋支店、武州銀行豊岡支店がある。坂戸銀行扇町屋支店は一時盛んであつたが、今はある事情の爲行務沈滞して居る

けれども將來發展の見込は充分にある。武州銀行豊岡支店は黒須銀行の後身で縣下第一にして基礎最も強固なる武州銀行の一支店として盛名四隣に聞え、預金總額は百五十萬圓に達し自から地方金融界の霸王たる概がある。

### 七、其他の商業

次に當町の特筆すべき商業として入間川河原より産する砂利販賣業がある。本品は帝都復興に對する建築必需品として採掘に日も之れ足らざる有様である。其外織物原料たる絹綿糸の卸業、工場用として石炭、木炭の卸業、其他日用必需品の商家四百餘戸に及び、食料品店も軒を列べて居るから、文化生活も何不自由なく營むことが出来る。扇町屋の料理は昔から味のよさを以つて稱せられ、近來は西洋料理、支那料理まで容易く得られ、赤い酒や青い酒まで口にせらるゝまでに發展した。

### 八、豊岡の名物

名産狭山茶は當町否地方一体の産物として、有名なれ共最近、狭山煎べゑ、茶羊羹、鹽煎餅等の名物が現れ、名物にして而も味が善いと云いふので稱讚を博して居る。

## 第三章 工業

### 一、はしがき

商業方面には餘り我が豊岡町の名は現はれないが、工業方面には近來非常な發展を遂げて、今や全國的に其の名が喧傳されるに至つた。就中茶業、製糸、及び醬油醸造は縣下第一と稱せられ、味噌製造、製茶業等も屈指の生産地と目されて居る。本年四月には武藏野線も電化するとのことであるから工業は益々發達し、従つて商業も繁盛に向ふべく近き將來に於て刮目に値する盛觀を呈するであらう。

### 二、製糸

當町に於ける製糸工業は今より四十二年前扇町屋に長谷部代次郎氏が三十人取りの製糸工場を開いたのが最初であつて、それより數年後に現在の石川組が個人組織に開業した。現今に於ける石川組は各地に發展し、遠く奥州、東海道方面に八分工場を設置し、其の釜數三千五百産額壹千五百萬圓の巨額に及び、實に全國屈指の大製糸工場となつた。

### 三、醬油

製糸業勃興が極く近年なるに反し、醬油醸造の歴史は非常に古く、繁田醬油店の創業は享保の昔である。現在の醸造戸數は三戸であるが造石高に至つては縣下第一である。就中<sup>㊦</sup>印の精製石數は一萬五千石に達し、野田銚子に次ぐ造石高である。尙ほ其他に富士萬、金龍印の二醸造家あり品質の優良を以て着々販路を擴めて居る。

### 四、織物

東京二子として全國に其名を知られた瓦斯綺は當町附近がその主要産地で、十戸の有力なる織物工場を有し年産額は三十萬反壹百萬圓に及んで居る。重なる名柄は新銘仙(湖月織)ちいみ織、瓦斯二子、風呂敷地等、何れも實用を主とした織物である。

### 五、酒と味噌

三十餘年以前は多數の酒類醸造家があつたが今では清酒<sup>㊦</sup>と瀧焼酎<sup>㊦</sup>と涼泉<sup>㊦</sup>二印であるが造石高は二千石に及び品質の優秀を以て名高い。尙ほ酒類取扱業者は甘戸に及び灘地方の優良酒を買入れ大量販賣をなし、取扱高實に六千石を越えこの地方の酒の集散地たるの觀がある。味噌の醸造は山万<sup>㊦</sup>の二印なれ共製造高は小樽七萬樽三十五萬貫に及び縣下有數の産地である。

### 六、雛人形

鴻巣雛は其の名全國に知られて居るが、當町の雛も起原古くして製作品は何れも優美而も雅致に富んで鴻巣雛に勝るとも劣らぬものである。先



年入間郡から贈物をせんとして、郡内より種々の物産を集めたが。豊岡町の雛が最適品なりとて、郡長は當町の野村平吉氏製造の雛を選ばれた。これ等は當郡中我が町の雛に匹敵する製品がないことを裏書する事實であらう。

#### 七、製茶と製麥

純手撚り狭山茶の代表的名産地である當町は最近優良なる機械製茶の工場が設けられ、産額二萬貫拾萬圓に及び、手撚茶を加ふる時は縣下第一の盛況である。猶本年度は豊岡爾糸製茶會社にて従來の丸狭丸共に匹敵する大工場を建設中であるから、將來當町の製茶業は茶取引と共に縣下茶業の大勢を左右するに至るであらう。

製麥業は丸狭狭山製麥會社にて秋冬の交茶の製造なき時押麥を製造して、東京方面に迄販賣して居る。同社は當地方に於ける代表的押麥製造會社である。尙ほ挽割麥は米穀業者何れも大仕掛に製造し其の品質が優良なるを以て著名である。

#### 八、其他の工業

以上の外當町の工業として染色業が發展して居る。絹綿の原糸より友禪裾模様的美術染物に至るまで立ち所に出來し京染のお株を奪ふ有様である。次ぎは製麵業で製造戸數は四戸だが製造高壹萬箱以上である。尙ほ瓦製造業は其の位置が豊岡と小谷田の境にある故通稱は小谷田の瓦として、其の名を知られ本場三州瓦に匹敵して優等品を製作して居る。また製藥としては打老兒丸が古來より其の名が高い其外鐵工、木工、セメント工業、下駄製造、印刷業等諸種の工業が勃興しつつあります。

### 附 錄 名 勝 舊 蹟

#### 一、長泉寺の大黒天

商工家に最も關係深き(一般にもさうだが)富の守護神から案内の筆を下

すことゝする。長泉寺の大黒天は明治三十五年四月宇田川住職が東京上野東叡山より豊太閣護持大黒天の分靈を受けたもので、福德の靈驗があらたかであるといふ評判が早くより四隣に聞え、今では東京にまで講中を有するといふ盛況である。甲子の縁日には武藏野鐵道が割引をするから信徒は随分遠方から押しよせる。初甲子と納の甲子には參詣人が萬を以て算へる程である。境内の設備から院内の裝飾を見ると、古代的の幽雅と近代的の色彩とが照映して自ら靈驗の大なるを物語つて居る。

### 二、根本山の星祭

年の幸を授けるといふ根本山の星祭はその起原がすつと古い。中興の祖三光院亮元師は奥州湯殿山及び野州根本山等にて法道を修め、諸法成就の上嘉永二年郷里黒須の地に歸り來つて道場を開き、諸人の請に應じて星祭を行つたが師の法力顯著なるを以て次第に擴がり今や三代の後に至つて愈々隆盛となり自から地方星祭の魁を以て稱せられて居る。冬至の星祭には近郷近在は勿論奥州方面よりも集り來つて參詣人は踵を接し肩を摩するの賑盛を呈するのである。

### 三、久保の稻荷社

今より三百有餘年の昔神官守屋伊豆氏が京都稻荷山より勸請したと稱せられる。神木白狐櫻は孫子の樹を残して老朽の幹となつて居る。この社は六十年毎に盛榮する由で明治七年頃は恰かも其の盛時に際し賽客が市をなしたといふ。神樂殿額殿など今猶當時の面影を存して居る。

### 四、愛宕神社

新田義興公の靈を祀つて有名なる愛宕神社には松と杉との神木がある。何れも長大なるもので懷舊の情をそそつて居る。社傳によれば正平の昔（今より五百有餘年前）足利基氏が新田公の首を實驗して後之を埋め首塚の側に木を植ゑて之を表した。それが即ちこの神木である。

### 五、十三塚

新田公に殉死した十三騎の首級を公の墓の周圍に葬つた。その數より名づけて十三塚と呼んだのであるが今は其の形を失つて了つた。只上野原の四つ辻近くにある古塚は其の名殘と傳へられて居る。

#### 六、上野原の地藏尊

前記の塚に接近して地藏尊が安置せられてある。是は明治維新の時彰義隊の餘派十三人が扇町屋の寄場に來つたが、川越に護送する途中郷民と難を構へ遂に十二人が刀の露と消れて了つた。その菩提を吊ふために地藏尊をたてたのである。病氣全快の御利益があるといふことでお地藏様は赤いおけさ等を飾つて居られる。

#### 七、大將陣

豊岡町停車場所在地は沓切場といふ字の名がある。その北方製麥會社のある所は大將陣と稱し昔某將軍が陣營を構へたといはれて居る。又眼下の霞川北岸には下小屋上小屋と稱する地がある。こゝには炊事場や前營

があつたと傳へられて居る。

#### 八、淺間山

大將陣の西方に屹立する山は淺間山である。明治四十年以前は淺間神社が祀られ、古老の話には某年の夏此の山に雪が降つたといふ靈奇が傳へられて居る。明治十六年四月 明治天皇が御野立あらせられた。四望の佳にして廣きことは近郷第一の稱がある。

#### 九、高倉寺の觀音堂

飛驒匠の作と傳へられる觀音堂は三間半四方の堂宇であるが桁の組み方其の他の様式が一風變つて居る。殊に奇なるは鳥類が棲まぬといふことである。

#### 一〇、蓮華院の寂蓮碑

黒須の蓮華院には百人一首で有名な寂蓮法師の碑がある。高さ三尺幅二尺の大きさで表に『開山寂蓮大法師』と刻んであつて古碑の面影が蒼然

として視はれる。又寂蓮袈裟掛の木と稱せられる大樗もある。

十一、観音堂の鰐口

蓮華院の境内にある観音堂は彫刻の精緻なること稀に観る所である。本尊千手観世音は定朝の作とも行基菩薩の作とも稱せられて一定しないが何れにしても名作であることは疑ない。新田義貞公が戦勝を祈願し一字を建て奉賽した。釜形四郎五郎が納めたといふ鰐口は古色蒼然たるものがある。

十二、入間川と豊水橋

入間川は新田足利の戦には幾多の戦士を送り迎へたのである。此の川には夏期鮎が上つて来る。地曳網に引きよせて手捕にする興趣は實に想像の外だ。又雑魚に富んで大公望連を喜ばせる。川上の半空に長虹を描くものは豊水橋で橋上の眺は真に一幅の活畫圖である。

第一部會員

- |          |       |       |       |
|----------|-------|-------|-------|
| 原島茂七     | 吉原さの  | 鈴木高次郎 | 小鷲福平  |
| 田中副治     | 遠藤はな  | 齋藤常吉  | 田島助七  |
| 増茂角造     | 鈴木兼吉  | 北田豊七  | 山畑藤吉  |
| 野村伊平     | 小林仙太郎 | 高山良三郎 | 山崎忠次郎 |
| 小林仲藏     | 水村與三郎 | 吉原林次郎 | 水村金次郎 |
| 西崎仙松     | 水村正太郎 | 忍足磯吉  | 永井清次郎 |
| 狭山製麥株式會社 | 市川松五郎 | 西澤汎治  |       |

第二部會員

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 田中徳太郎 | 都築治策  | 齋藤作三  | 宮崎テイ  |
| 西野もご  | 關谷綱吉  | 本橋清太郎 | 田代彌一郎 |
| 石田徳藏  | 川島柿二  | 豊泉又一郎 | 齋藤治平  |
| 岡野未男  | 星野いき  | 大野つげ  | 荒川春吉  |
| 粕谷喜三郎 | 安藤はく  | 石川邦三  | 小島やす  |
| 市川えい  | 石川泰治  | 平山春吉  | 岡安ツル  |
| 粕谷多平  | 栗原源治郎 | 四分一モト | 水村綱太郎 |
| 山畑芳助  | 山畑さわ  | 中村和助  | 荒川こま  |

須田佐七 野村やい 小島八重藏 新井ハナ  
 小島しづ 矢島稻太郎 市川せき 野村松五郎  
 小川邦次 池谷國次 高橋實 山畑次郎吉  
 中島重太郎 西澤勘四郎 長岡善八 横山辻平  
 内沼シチ

第三部會員

野村啓助 西澤庸作 吉原仲藏

第四部會員

齋藤伊平 豊泉駒次郎 中島常太郎 野村仲藏  
 内村長次郎 粕谷辰五郎 淺見永利 立川ツネ  
 淺見友吉 田口大助 市川亥十郎 諸井子之助  
 豊岡繭絲製茶株式會社 野村房次郎 新井久市郎 繁田仲藏  
 小林善吉

第五部會員

武州銀行豊岡支店 坂戸銀行扇町屋支店

第六部會員

齋藤竹次郎 吉原岩次郎 伊東清次郎 横田龜八

岩井榮治 吉原忠次郎 吉原媒吉 井關百藏

吉野藤五郎 吉原繁太郎 長谷部製絲合名會社

株式會社石川組製絲所 細田卷太郎 野村己之助 田中竹三郎

細田政治 水村廣作 西澤萬次郎 石川太助

築地九藏 山崎甫助 水村利助 水村清吉

水村運平 佐藤市之助 合資會社水菊商店

第七部會員

齋藤徳藏 秋元富藏 森田斧次郎 吉原角次郎

繁田武平 繁田惣吉 小林平助 石川龍藏

高山作藏 黒須市場 當摩龜太郎

第八部會員

齋藤倉吉 西澤銀藏 小林嘉藏 市川喜助

高瀬とら 豊泉佐市 町田文平 野崎兵藏

古川ふく 岩井龜吉 出川爲吉 高木次郎吉

清水源藏 齋藤作藏 橋本彌三郎 宮岡邑三

大野木巖 市川平吉 淺田治平 金子金重

石井一郎 大野つる 近藤春吉 岡野義三

信田松之助 鈴木儀平 關谷朝吉 北田テイ  
水村株藏 淺見嘉助 水村金次郎 原田熊太郎  
市川峯吉 山口七之助 田口まつい 小島吉左衛門  
吉原まつ

第九部會員

齋藤惣平 安藤善三郎 横田禮三 野崎福太郎  
柴笹井一 中里良吉 野崎榮次郎 中村由太郎  
吉原兼吉 吉野初五郎 横田眞三 川島安兵衛  
關田莊三 市川己三郎 金澤米吉 長谷部りや  
小川代三郎 向山清吉 水村萬平 諸井清次  
山岸茂助 細田仁平 石川平吉 淺見浪藏  
諸井源次郎 寄藤カ子

第十部會員

鈴木榮一郎 中村磯三郎 田島仙太郎 三浦貞吉  
小林袈裟太郎 横田ミネ 清水喜作 深井善右衛門  
原島幾太郎 栗原伊之助 齋木定吉 伊藤喜次郎  
双木うた 横田正幸 森下紋一郎 砂長健太郎

第十一部會員

水村龜太郎 臼杵多美治 忍足修三郎 古谷喜十郎  
野村谷五郎 關根定吉 須田彌助 橋本よし  
宮岡太重 田中百太郎 西澤榮五郎 金子チヨノ  
岩崎つる 田中能登 山影秀吉 田中林平

第十二部會員

池内近三 田中卯吉 齋藤儀藏 鈴木幸八  
柳澤きん 山岸宇吉 中村芳五郎 中村文次郎  
繁田哲四郎 松本石太郎 長澤亮輔 淺見文藏  
中村龍藏 中村ふゆ 青木久太郎 奥田つた  
本山平藏

第十三部會員

高橋源藏 高橋寅造 齋藤鶴吉 内村八十吉  
松井庫吉 茂手木清吉 小澤依造 大野定吉  
金子貞太郎 松井福太郎 岡部信太郎 淺田忠治  
齋藤進 山崎水吉 杉田茂吉 野口一郎  
小島新吉 米山又吉 須田恒七 大森勝三郎

第十三部會員

粕谷良平 篠崎長吉 橋本要三 野村平吉  
中村紋吉 岩崎萬次郎 井ヶ田酉之助 關口松五郎  
橋本貫一 絹田初之助 本山熊吉 豊泉武一

第十四部會員 西島幾太郎 澤田金之助 齋藤寅吉  
石川權藏 田口角次郎

第十五部會員 細田金平 森濱吉 桑田愛三  
高橋佐平 野村平吉 西澤庸作 尾崎虎雄  
小林鐵五郎 內村長次郎 吉原吾助 齋藤又作

第十六部會員 岡部重太郎 齋藤幸藏 岩田高藏  
八木信太郎 高山庄平 山畑勳次郎 平本常吉  
野村作次郎 黑須協同會 原田耕太郎

第十七部會員 齋藤彦吉 宮澤十七吉 松本恒三  
田島新平

栗原銀藏 野口徳太郎 田中國藏 内藤文作  
山畑四郎 中村龜吉 須田齊次郎 寺本廣吉  
細田重左衛門 須田平吉 諸井金四郎 栗原初太郎  
藤村くめ 山畑萬右衛門 加藤時次郎 兒玉今五郎  
梅澤長吉 廣瀬輕次郎

第十八部會員 栗原好三郎 伊藤しま 吉野まよ  
田中初太郎 池田芳五郎 齋藤萬平 福地ふく  
石橋又三 古川金太郎 關川政太郎 森田茂作  
島崎新吉 大野時次郎 大島竹造 渡邊いさ  
須田萬藏 西澤實三 齋藤ヒデ

第十九部會員 川崎一 内村わき 下田キン  
吉野三之助 島村はる 雨宮半藏 細田庄次郎  
大串ツル 須田五次郎 岡野チカ 小岩井タキ  
血分次郎吉 諸井サダ

第二十部會員

第二十部會員

田中邦太郎  
田中鶴吉  
高橋安三  
沖倉菊松  
小澤民藏  
山畑敏太郎  
諸井相太郎  
小島幹一  
細田梅吉  
清水信雄  
田代政吉

櫻井久平  
野口忠藏  
横田彌左衛門  
山畑爲五郎  
須田小金次  
山畑類太郎  
小林萬吉  
大野春吉  
山田菊二郎  
宿谷政吉  
諸井榮太郎

鈴木勝五郎  
淺見啓助  
田島實藏  
新井浪吉  
諸井秀吉  
原田福太郎  
山畑龜之助  
忍足留吉  
小島彌助  
石川七郎

長谷部安五郎  
吉原茂七  
牛久保作藏  
齋藤力藏  
伊藤左武郎  
山畑榮藏  
細田清八  
栗原定吉  
熊川兼吉  
島崎留吉



豐岡町畧圖





水

富

村

川

黒

須

高

倉

子

金

東

屋

至青梅

至八王子

至飯能町

至飯能

至同川

至同川

至同川

至入曾

至所澤

善

藏

新

田

開

開

開

稻荷神社

開

教会堂

豊田神社

学校

公会堂

公園

須川

開

開

開

開

開

開

開

開

開

開

開

開

豊田神社

豊田橋

至坂戸町

間

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

至藤沢

無上の光榮  
 明治十六年四月明治天皇  
 皇繁園本邸に御駐筆の  
 際銘茶玉翠奉獻の賞と  
 して御紋章附木杯を賜  
 はり爾來屢御恩命を拜  
 し尙  
 久邇宮家及び東久瀨宮  
 家等より御用命を蒙り  
 て居りますのは繁園を  
 上の光榮とする所であ  
 ります



〔上〕繁田家庭前  
 〔中〕竹田宮殿下  
 御手植の檜  
 繁田家庭前



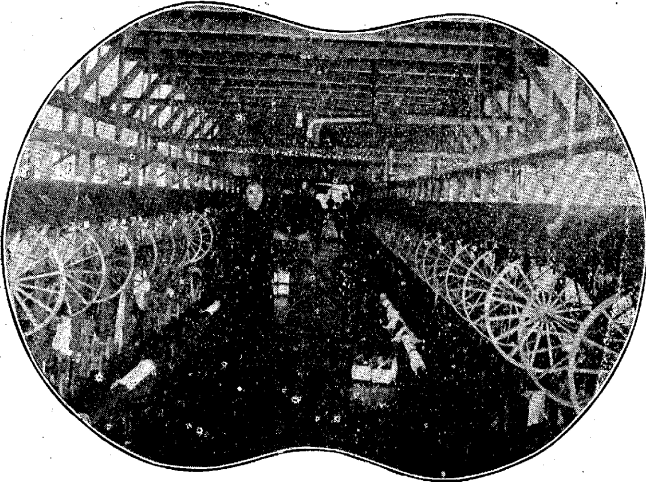
〔下〕繁田園  
 お茶摘



店本園田繁 (玉) 町岡豊州武



〔堂講組川石〕



石川組（工場の一部）

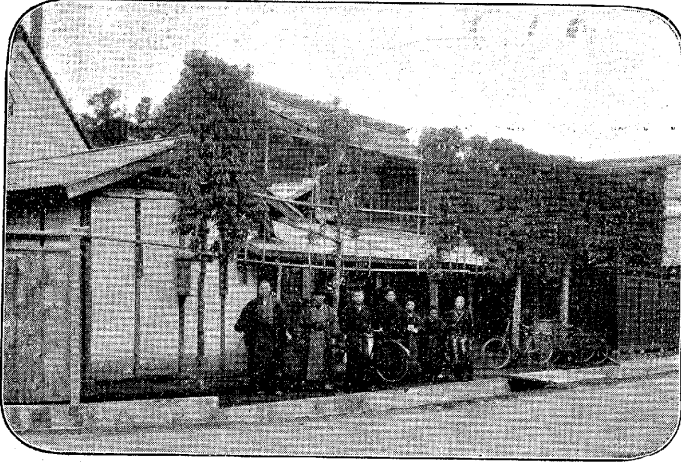


〔場工場本〕所糸製組川石

町岡豊州武

# 所絲製組川石

番三冊豊  
番十七川間入話電



高 級 柏 取 燒 耐 涼 泉

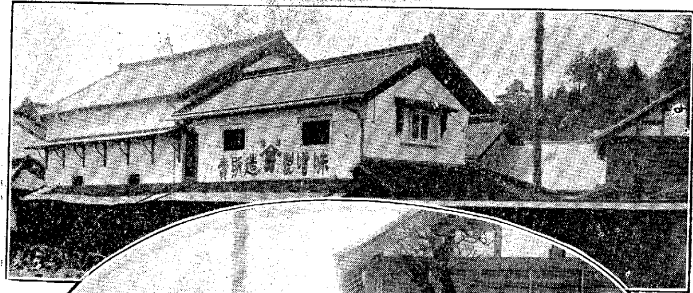
山 岸 宇 吉

酒 類 醬 油 商  
各 國 酒 類 醬 油

振 替 東 京 一 六 七 二 〇 番  
電 話 豐 岡 三 十 二 番



元 餾 蒸 耐 燒 印 泉 涼



萬 醬 油 釀 造 元

須 黑 方 町 岡 豐  
店 商 見 淺

番 二 十 二 岡 豐 話 電

方 味 噌 釀 造 元

資本金 七百八拾九萬八千圓(全額拂込濟)  
 諸預金 參千萬圓

埼玉縣豐岡町

株式會社 **武州銀行豐岡支店**

頭取 大川平三郎

本店 埼玉縣浦和町 常務取締役 永田甚之助

常務取締役 柴田愛藏

東京 東京、京橋、日本橋、

縣內 川口、大宮、岩槻、幸手

粕壁、草加、熊谷、妻沼、本庄

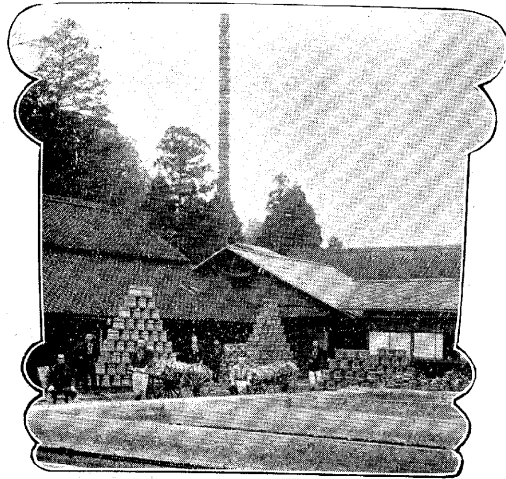
兒玉、川越、川越南町、入間川、松山

支店



武州銀行  
 豐岡支店倉庫の一部

武州銀行豐岡支店



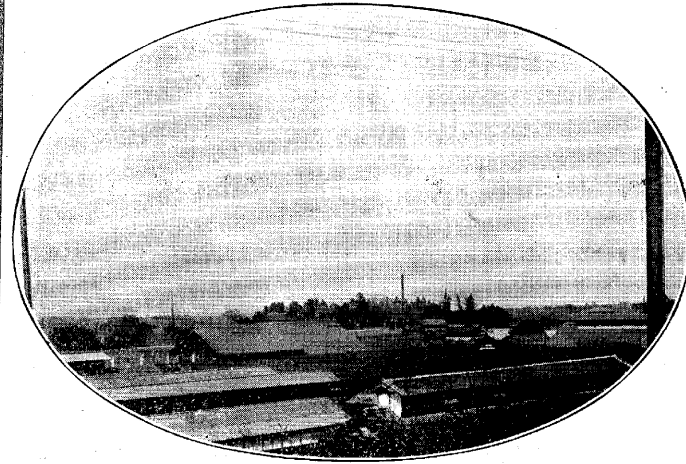
石川組醬油釀造部

元 造 釀 龕

部 油 醬 組 川 石

番 五 岡 豐 話 電

須 黑 町 岡 豐



須 黑 町 岡 豐

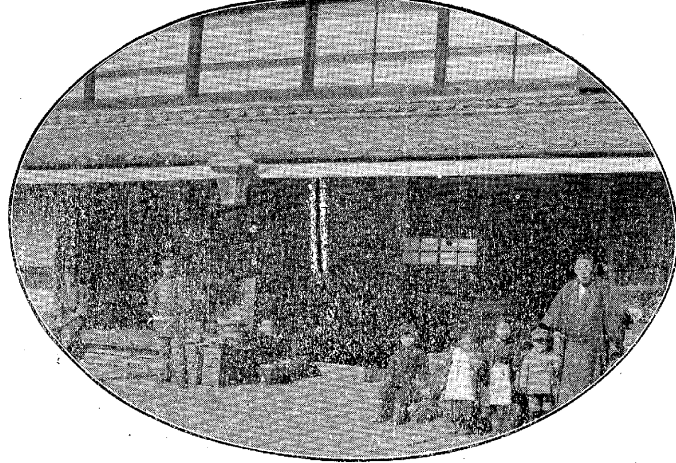
場 工 二 第 組 川 石



須 黒  町 岡 豊

野村平吉商店

店 舖

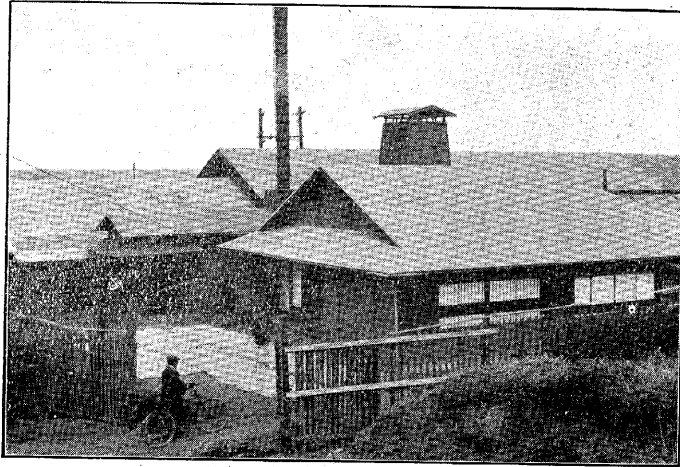


白米雜穀  
製粉荒物  
商

久清水屋本店

電話 豊岡十三番  
豊岡町黒須





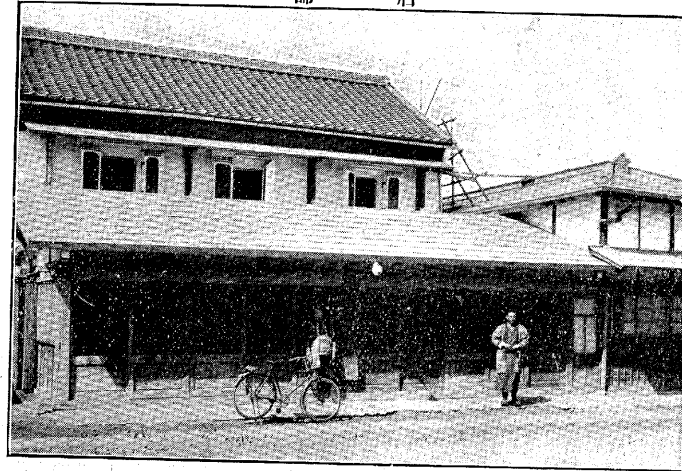
純良機械製茶  
 改良麥造元

須 黑 **狹** 町 岡 豐

狹山製麥株式會社

社 長 繁 田 庸 三 郎

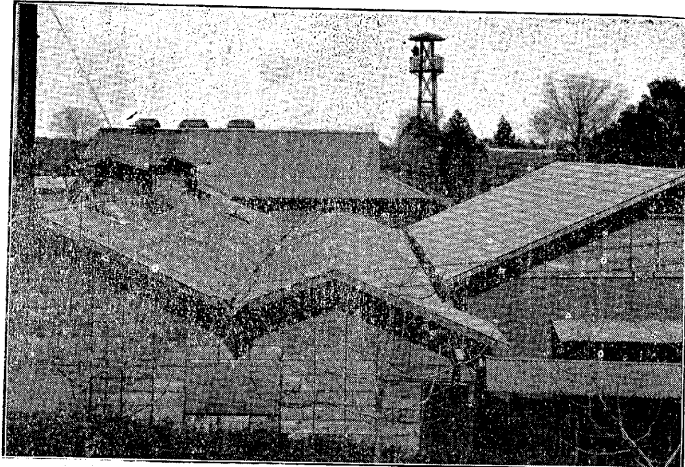
舖 店



豐岡町扇町屋

豐岡製繭絲茶株式會社

電話豐岡三十九番  
 振替五一八九六番



造製茶山狹



豐岡製茶共同組合

- 一、組合員七十八名
- 二、組合員自園青葉生產額三万全貫
- 三、製茶製造量年額五千七百貫
- 四、販賣法地方茶問屋入札ニヨリ黑須市場ニ於テ競賣ス
- 五、共同出資二萬五千圓
- 六、大正十二年四月創立
- 七、積立金四千五百圓也

理事長 野村平吉  
 專務理事 小島惣助  
 全 水村利助  
 全 野村精



黑須協同會  
 砂利部

埼玉縣砂利販賣指定人  
 理事長 水村金次郎  
 理事 野村平吉  
 全 小島惣助  
 全 野村精

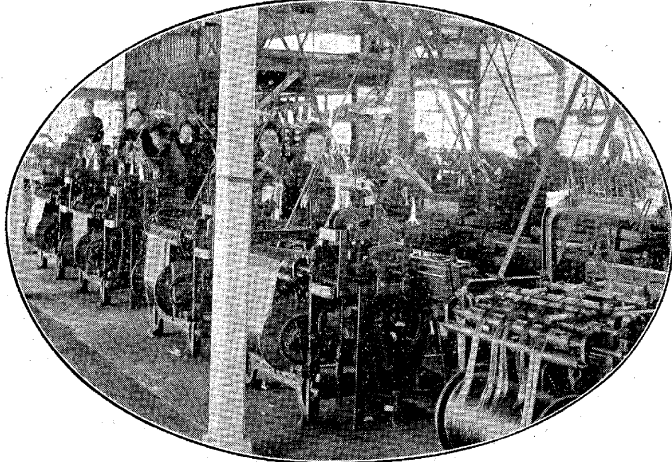
筋川間入

砂 砂 玉

利 石

販 賣

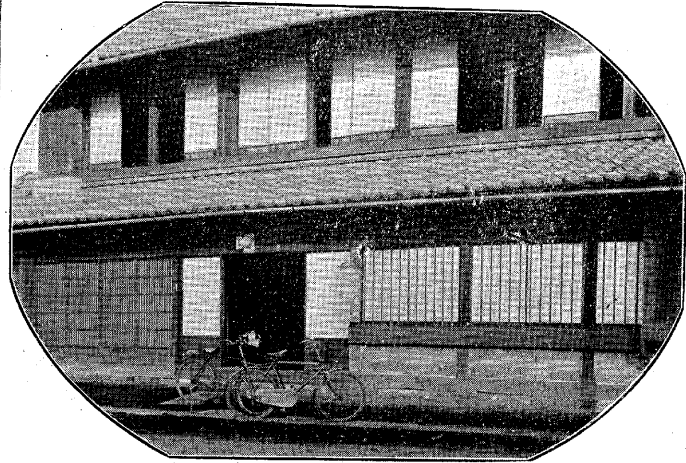
(諸工事用)



部一の場工

場主 吉原忠次郎

電話豊岡十五番  
豊岡町扇町屋



交絹  
織物製造元

福吉原織物工場



内外、玄白米  
雜穀、製粉 商

吉兼木鈴木

電話 豊岡六番

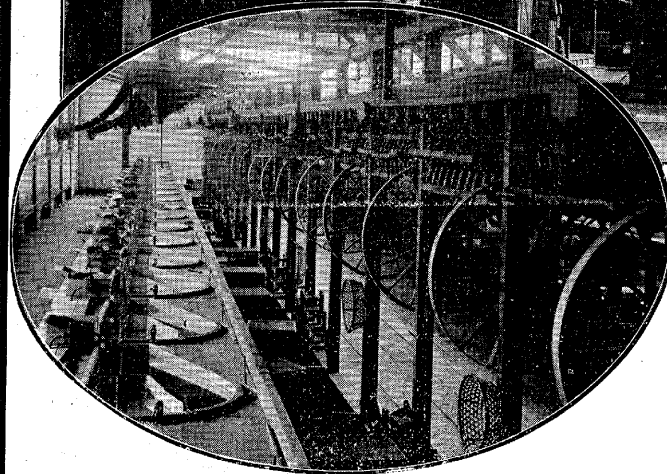
振替東京二〇八五一番

電略(ススキ)又(ハス)

精米部

第二工場

水富村笹井三丁目五番地

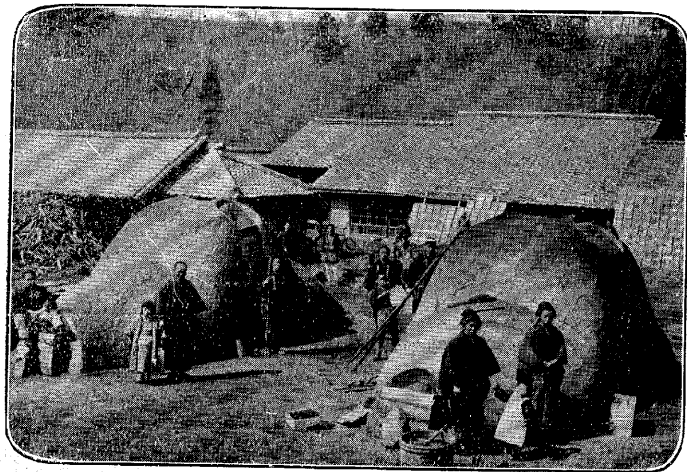


電話八番



豊岡町扇屋

長谷部製糸場



部一ノ場工

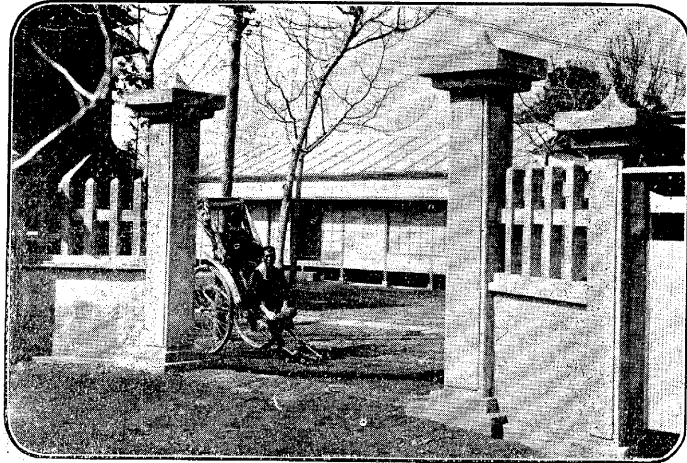
町岡豊  州武

所造製瓦澤瀧

品 優 耐  
質 美 震  
堅 高 耐  
牢 尚 火



部一ノ場工



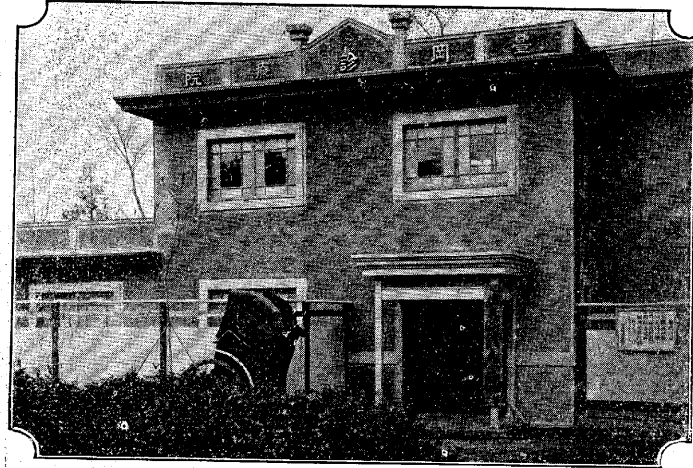
正門

# 豊岡診療院

電話豊岡二十四番  
豊岡町扇町屋

診療時間  
自午前八時  
至午后五時

入院隨時



診療院全景

外科專門

眼 科

婦 人 科

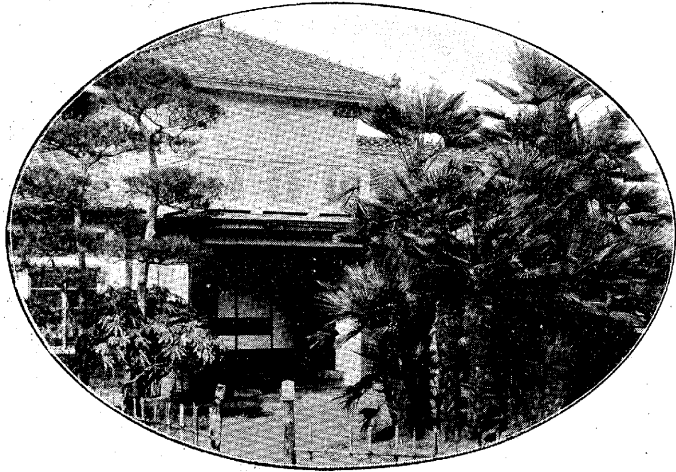
花 柳 病 科

腦神經腔門科

內科小兒科

各科分膽診療

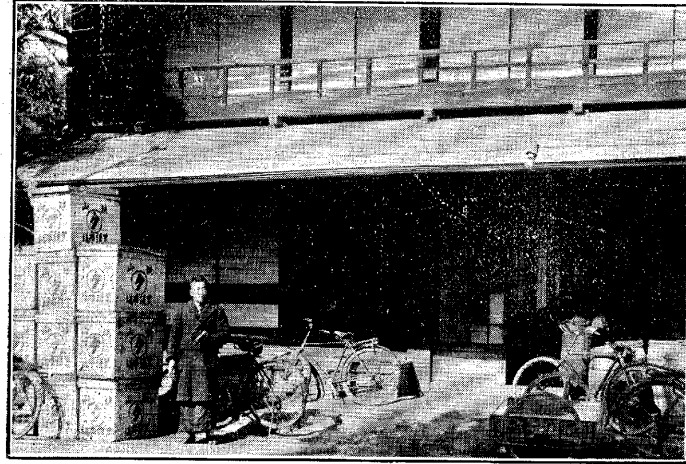




須 黑 町 岡 豊

院 醫 田 平

番 一 十 岡 豊 話 電



舖 店

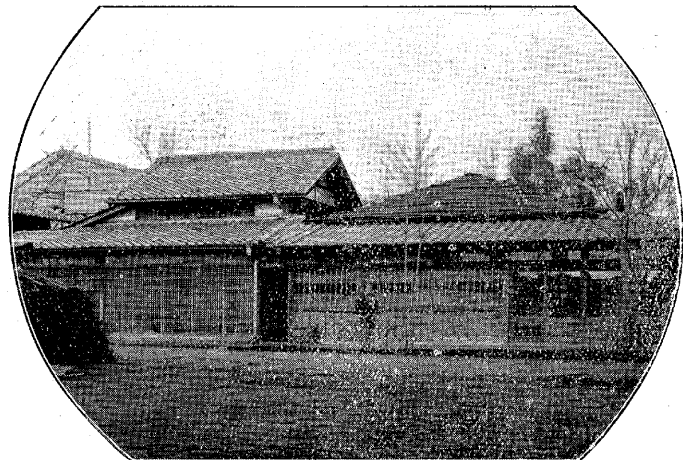
糸 狹 山 茶  
繭 問 屋



株 式  
會 社

黑 須 市 場

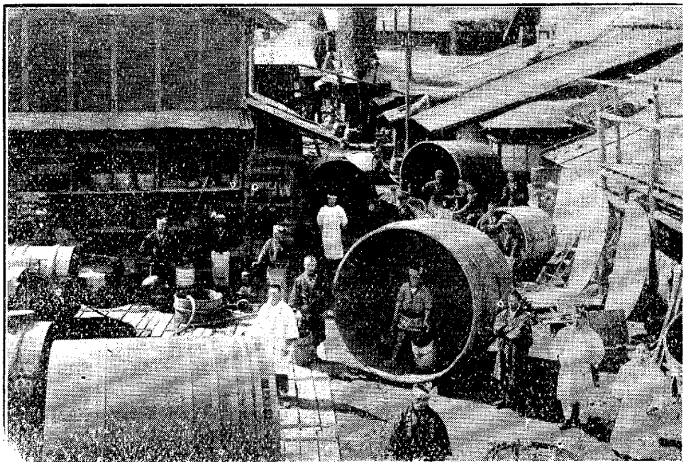
社 長 石 川 龍 藏  
豊 岡 町 黑 須



# △原嶋石炭店

磐城炭  
茨城炭  
九州炭  
北海炭  
扱

電話豊岡叁拾七番  
豊岡町扇町屋

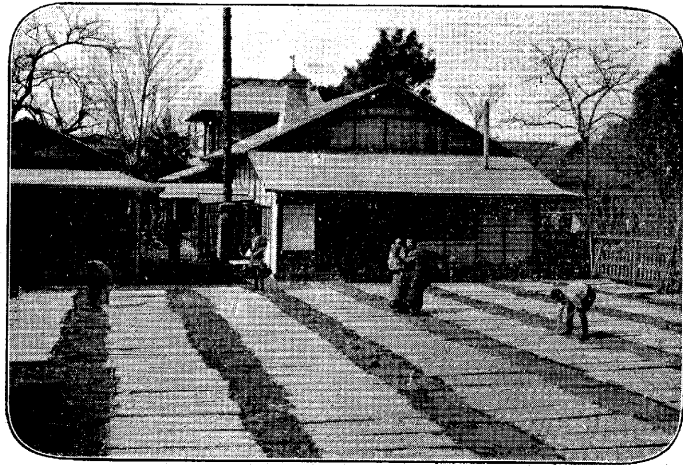


# △丑中村芳五郎

武州入間郡豊岡町黒須  
清酒造元

電話豊岡十六番  
振替東京六三七五番





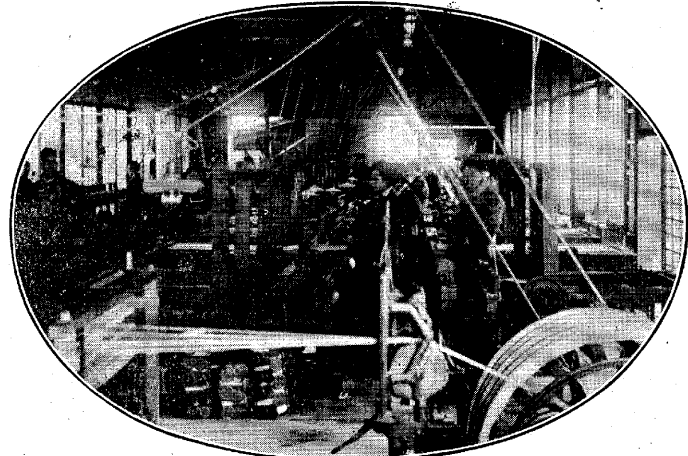
商 倉 標

石 川 商 店

各種  
米菓 製造部

各種せん餅  
あから餅類  
かき菓子  
和洋菓子  
進物用折詰

販賣部  
(分店)



工 場 一 部

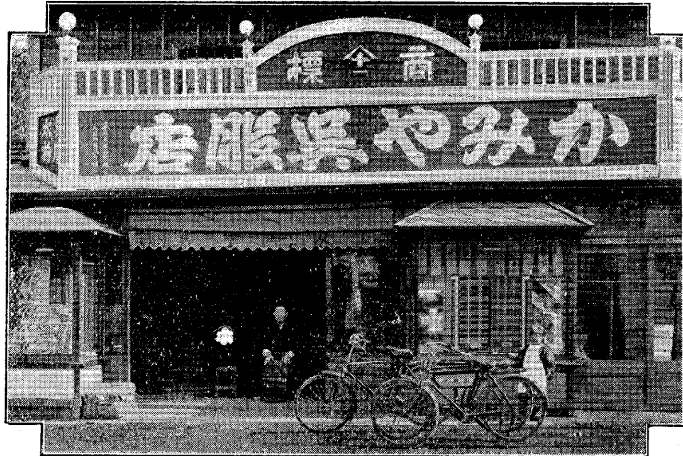
縮織  
布製造

細政織物工場

工場主

細田 政治

豊岡町黒須



かみや呉服店

豊岡町扇町屋

x

x

x

x

x

x

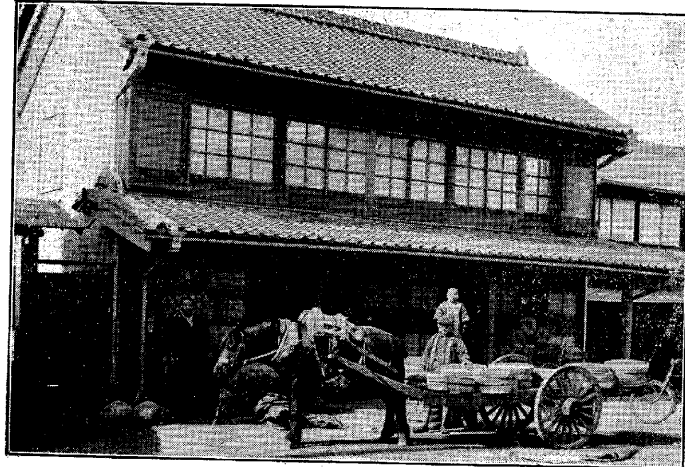
各種木炭  
萬荒物  
卸商

海岸線改良切角俵専門

△印田印特約店

坂口商店

店主 齋藤 惣平  
豊岡町扇町屋



肥料商

野村啓助

豊岡町扇町屋



武藏野線豊岡町驛前

西澤運送店

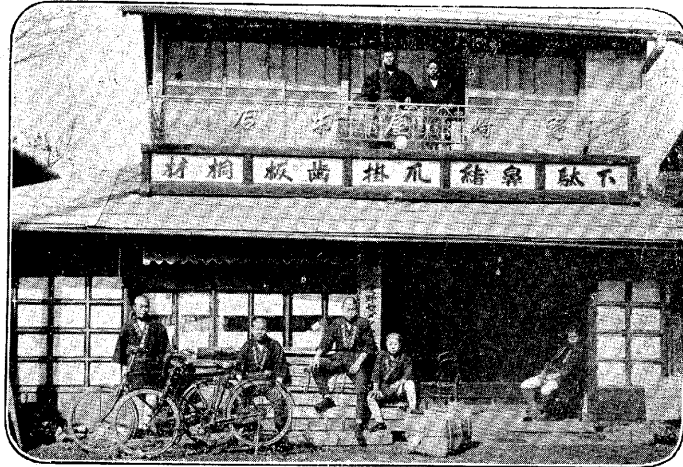
電話豊岡二十三番

米穀肥料商



西澤庸作商店

電話豊岡四十一番  
電略「ニシ」



乾魚物商  
支店 上町  
**野崎兵三**

履物商  
支店 下町  
**野崎福太郎**

商標



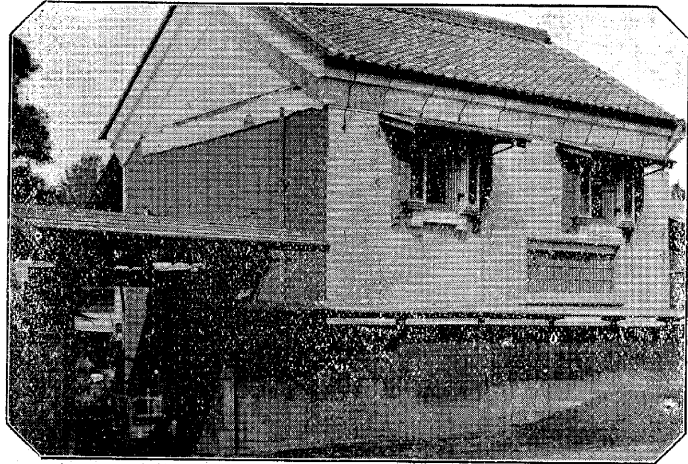
**野崎屋本店**

店主野崎榮次郎

振替東京六四八一九番  
電話「ナ」又「ハ」

履物問屋

豊岡町扇町屋



山 狹  
茶問屋

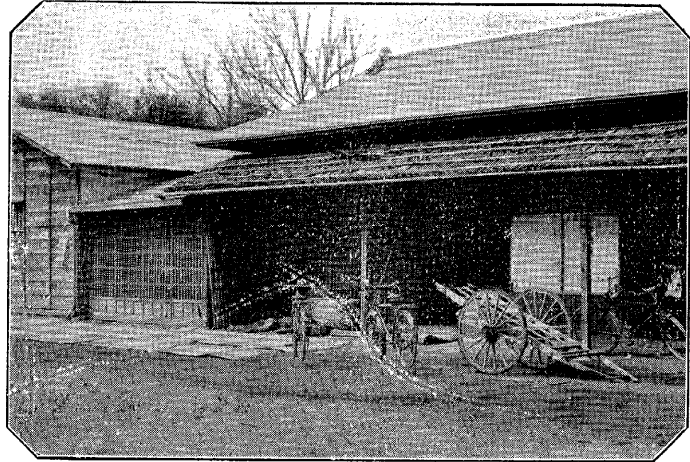
**伊齊藤德藏**

豊岡町扇町屋

豊岡町扇町屋

# 横田綿糸店

電話豊岡四番



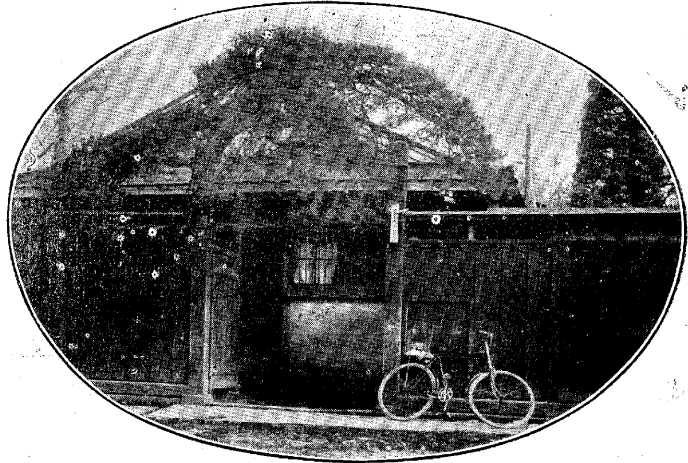
舖 店

米穀商

田島屋號

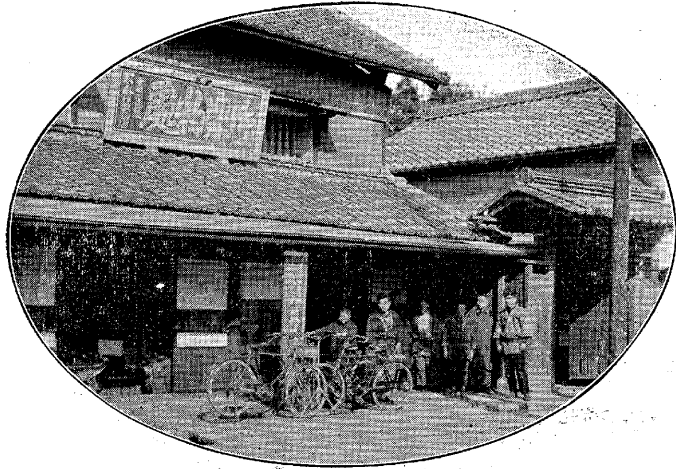
# 畠田島助七

豊岡町扇町屋



飯塚醫院

電話 十八番  
 豊岡町扇町屋



染物は

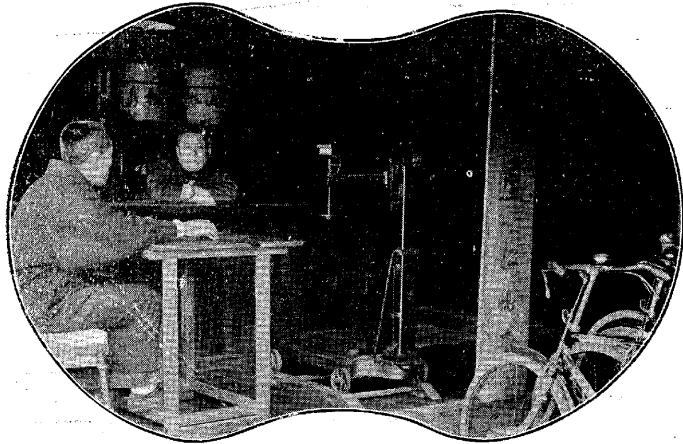
是非弊店へ！

一 獨特の光澤ある新八千代黒

一 友禪本シゴキ染、小紋、

一 抜染加工も致します

水村染物店

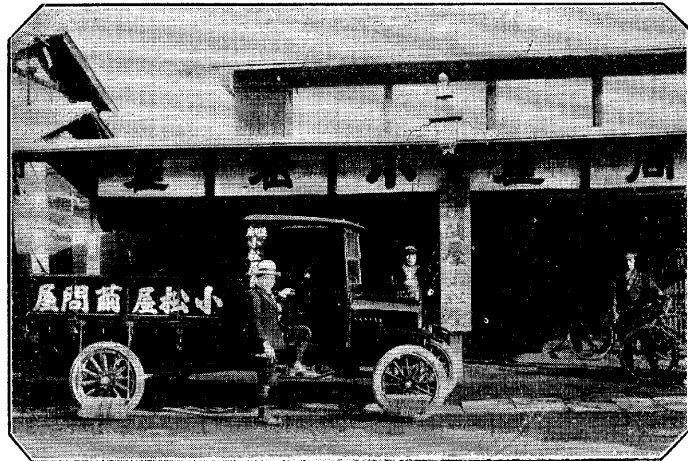


繭絲問屋

# 今松島商店

店主 齋藤清一郎

豊岡町扇町屋



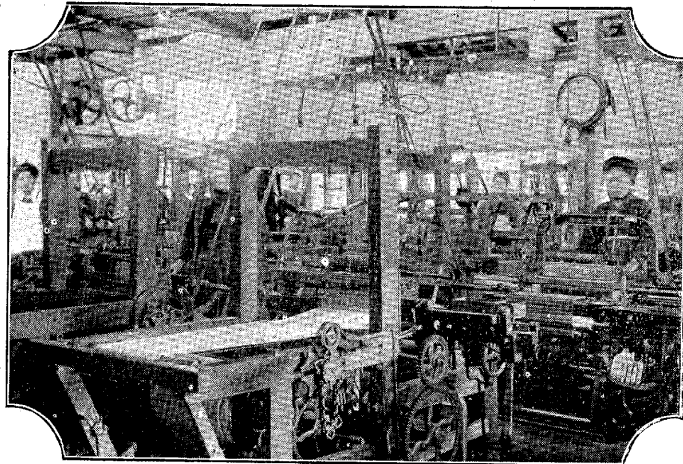
繭問屋

# 小松屋商店

店主 内村長次郎

豊岡町扇町屋  
電話豊岡四拾五番

# 小松屋自動車部

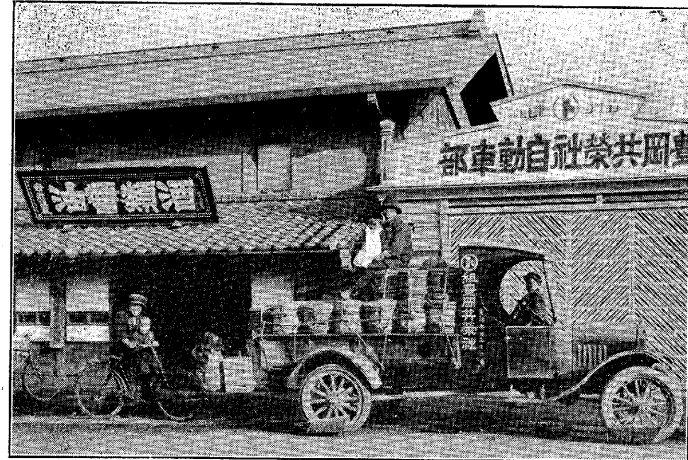


部一ノ場工

# 細卷織物工場

工場主

細田卷太郎  
豊岡町黒須



舖店

肥木醬酒  
料炭油類  
商

屋町扇町岡豊

## 池内近三商店

番六十三岡豊話電  
番二〇〇一五京東替振



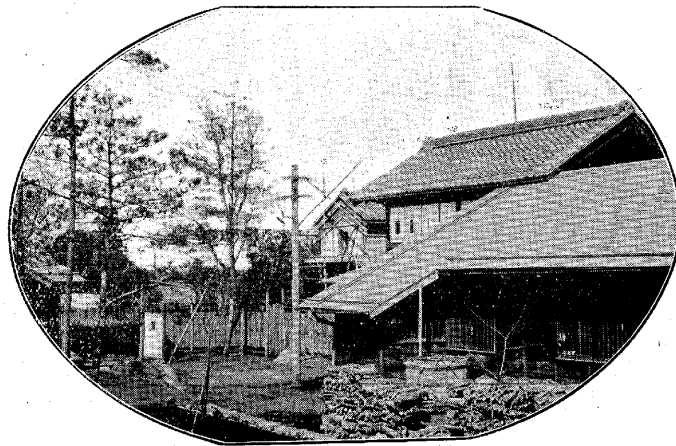


雛人形  
小道具製造問屋  
破魔弓

粕谷良平

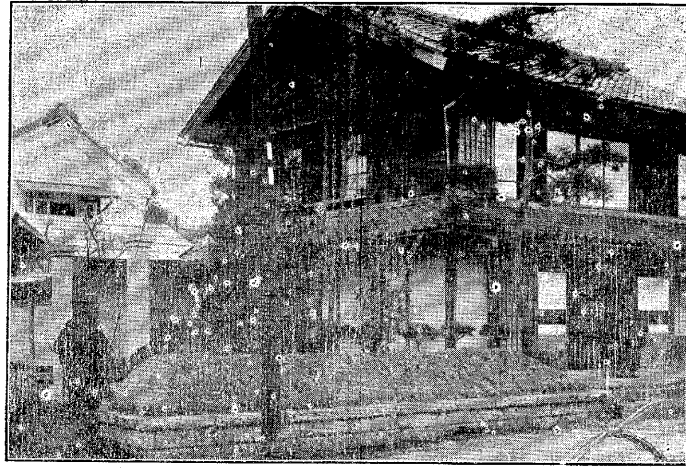
造花類一式

豊岡町扇町屋



豊岡町 關 扇町屋

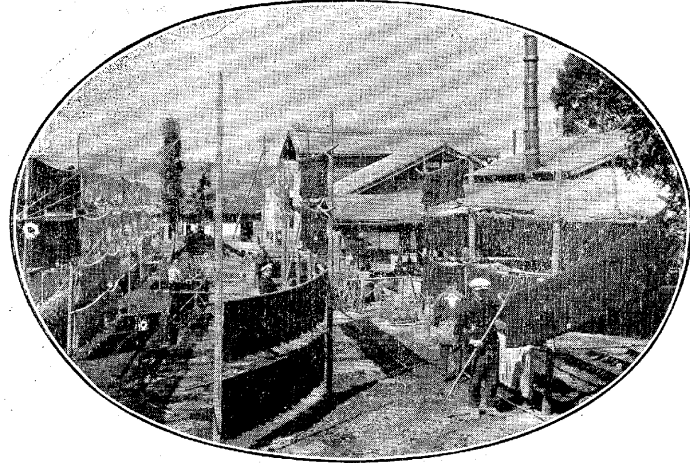
井關織物工場



土木  
建築  
請負業

小林鉄五郎

豊岡町黒須



工場部

豊岡町 吉 扇町屋

吉藤染工場



十一屋商店

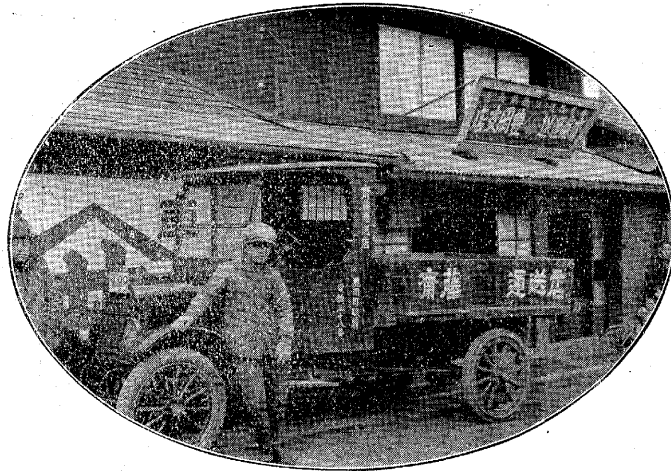
豊岡町黒須(根本山前)

酒類部  
履物部



吳服  
太物  
メリヤス  
帽子

豊岡町 黒須  
足袋庄



店引取社會式株送運際國(運)

前驛町岡豊  線野藏武

店送運藤齋

番五八七九三京東替振 • 番八十三岡豊話電

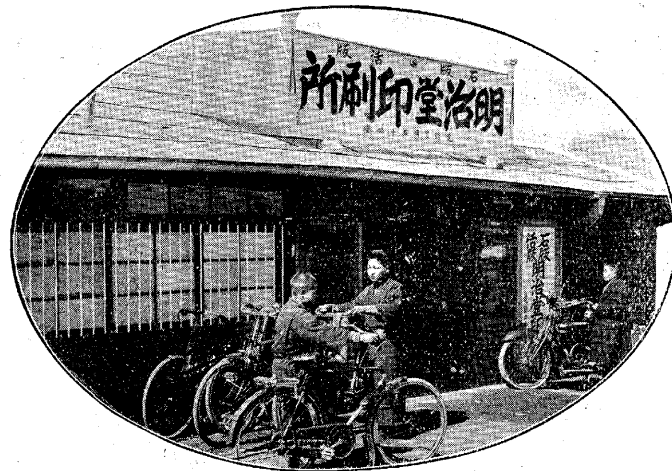




越後屋酒店

田中卯吉

豊岡町扇町屋



**全智全能を盡す顧客本位**

弊堂は全員熱火的緊張を以て、根  
限りの努力で印刷代低廉と印刷物  
優良の爲めに獅子奮迅の勢で仕事  
に従事して居ります。

石版、活版 チンク、  
オフセット、コロタイプ

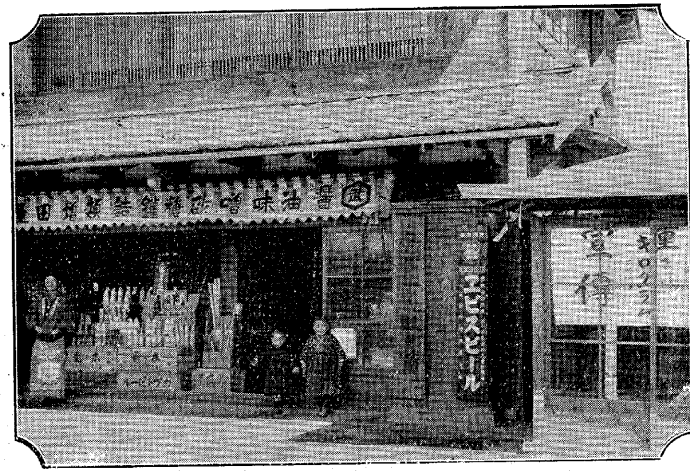
打てば響く工場全員の力行はどん  
な印刷物にも躍動して居ります。  
貴方の印刷御注文を緊張せる明治  
堂へ御申付けになりますと優美麗  
麗な印刷物が低廉に而も迅速に出  
来上ります。

**明治堂印刷所**

電話豊岡四拾四番・振替東京五八八五番

東京營業所 神田區紺屋町二十九番地

**感激と感謝の力行努力**



ユニオンビール  
三ツ矢サイダー 特約店

志ら瀧壘詰發賣元

**増田屋分店**

中村 文次郎

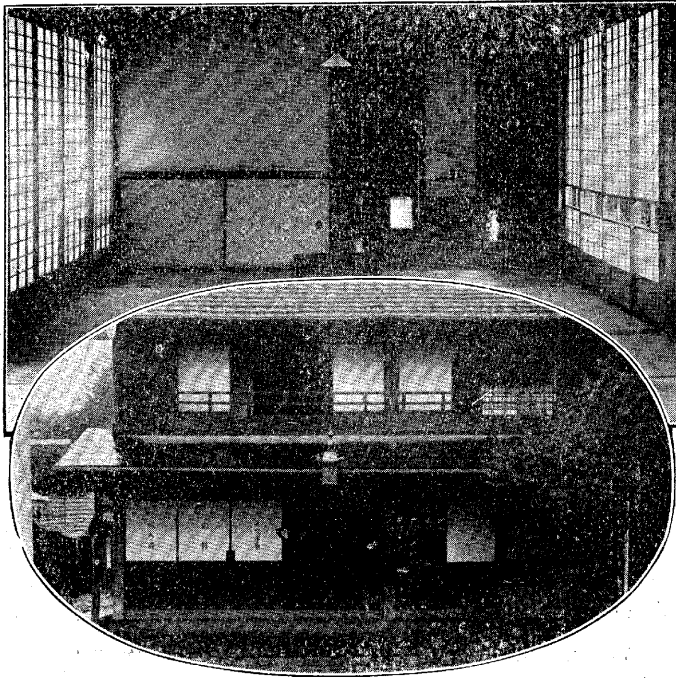
武州豊岡町(ガード際)  
電話 豊岡十六番

一度 イチド  
 試みよ シクミヨ  
 たんせきせん息 タンセキセンイキ  
 百日咳咽腫水 ヒヤクニチカキ  
 にはヨクキク  
 煉薬  
 打老児丸  
 横田 榎林 堂  
 發賣元



各薬店にあり御求の節は  
 打老児丸と御亦定  
 願ます

二日分 二十銭  
 四日分 五十銭  
 九日分 壹円



豊岡町扇屋

大文宇屋旅館

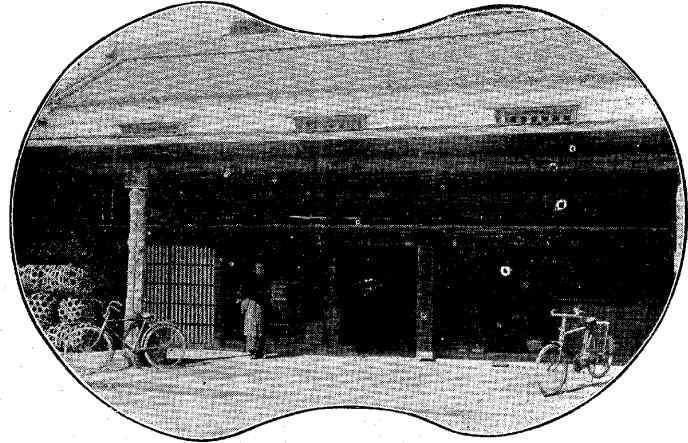


御料理

仕出し

江島屋

電話豊岡四十七番  
豊岡町扇町屋



店 舗

繭絲問屋

立川商店

豊岡町扇町屋





會長 山畑守誠師



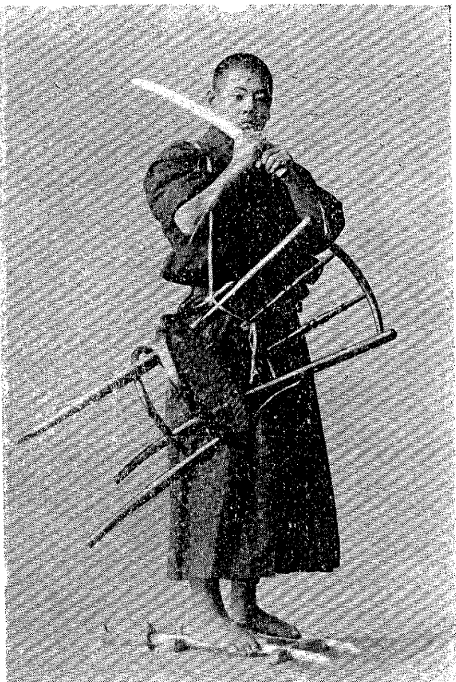
◆ 難病や悪癖で醫師や神佛に見離された人や悲觀落膽、煩悶、不平、不滿其他アラユル災厄不幸不運の闇黒界に居る人々を救う爲に幸福の鍵を實費で上げます此の鍵を握れば何人も必らず光明界の人となれます。只今直ぐお求めなさい。

◆ 吾人の生理作用の原動力は精神なり

◆ 健康とは『精神作用の健全なる現象』を稱すなり

◆ 病氣とは『精神作用の不完全なる現象』を稱すなり

◆ 死とは『精神作用の全死したる現象』を稱すなり



寫真説明 腕部に太針を貫通し其の針に椅子を吊して、白刃を踏み更らに白刃を以て頬を引きつゝある實況なり 會員 静岡縣賀茂郡城東村字白田 山本茂氏

埼玉縣豊岡町

帝國心身鍛練會本部

振替東京七壹叁貳六番

◆ 暗黒界に居る人々は勿論何人も必讀すべき良書なり

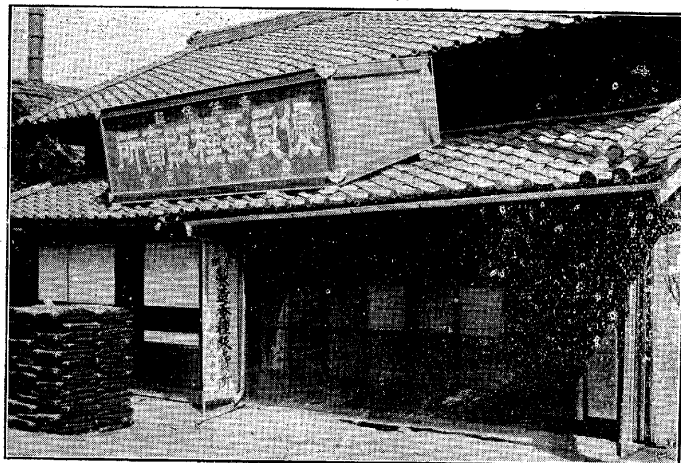
◆ 希望者は返信料を添へて照會を乞う

(何人にも讀める) 萬物の靈長を發揮せば天下に敵なし自己を發見せよ





店 舗



和洋  
壽し

御料理  
仕出し

大島屋

主 火 島 竹 造

豊岡町黒須  
電話豊岡四拾二番

豊岡蠶業商會

常商會三大特徴

- 一、郡内蠶種製造家中最も熱忠實なる製造家に委宅製造する事
- 一、肉眼鑑定を充分にし尙希望により蠶業取締所の病毒検査証明書を添付に尤も確實にして安全なる事
- 一、石川組蠶種部と特約してありますから如何なる大量なる御注文にも應せらるゝ事

▽主新井久一郎

繁田園特製の銘茶

玉露 茗

數十年の老樹より精製した者で、深緑の色鮮やかな質に口品の珍であります

煎茶 翠

繁園の創意に係る繁田式製造法により製造した逸品で宮廷の御買上と卅有餘の賞牌は之が真書を致す者であります。

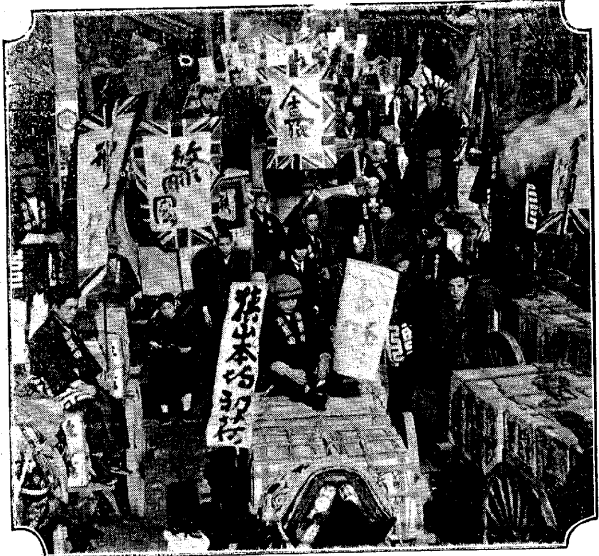
煎茶 繁田園

狭山茶の特色たる香氣と風味とを具備して居りますから、日常の御用として特に御推奨申し上げます。

⑤ ホウジ茶

最新の流行品で一般御家庭用としては此の上りないお徳用品で消費節約の尤なるものであります。

右銘茶の儀各地の茶店にて販賣致して居ります若し賣切れの節は直接本園に御注文あれば即時小包引替便で御送り致します。



武州狭山繁田園初荷の眞景

豊岡町扇町屋

中 齊竹織物工場

上 白 さらし 箔 箔 箔

山 横山製箔所本店  
山 横山製箔所支店

豊岡町黒須

飯能河原町

狭山茶 繭絲業

繁田仲藏

龜

豊

屋

岡

町

狭山

菓

黒

せん

子

須

べい

元祖

舗

各種紙箱製造

佐藤徳太郎

豊岡町黒須

農具一式製造業

寺本廣吉

豊岡町黒須

竹 細 工 式  
物 戶 瀨 產 地 各 式



須 田 平 吉 商 店

須 黑 町 岡 豐

理 髮 舖

大 正 軒

豐 岡 町 扇 町 屋

吉 野 電 器 々 具 販 賣 部

青 物 商

淺 見 嘉 助

豐 岡 町 黑 須

履 物 製 造 販 賣

吉 見 屋

自 轉 車 部

豐 岡 町 扇 町 屋

足 / 洋

袋 / 物 類

ヨ シ ム ラ 洋 品 店

豐 岡 町 黑 須

原 島 吳 服 店

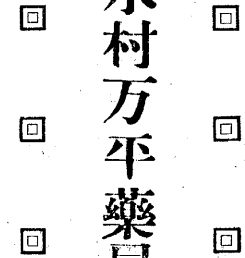
豐 岡 町 扇 町 屋

貨物 久 運輸

桑田自動車

桑田愛三 豐岡町黑須

水村万平藥局



豐岡町黑須

田島金物店

豐岡町扇屋

魚類乾物商

魚一商店

豐岡町黑須

雛人形 製造販賣 破魔弓

絹田初之助

豐岡町黑須

諸車製造業

米山又吉

豐岡町黑須

丸

丸田屋米店

豐岡町扇屋

各國時計蓄音器

裝身具

修繕販賣

橫田時計店

豐岡町扇屋

豐岡町黑須

足袋股引

腹掛製造

田中百太郎

萬金物商

今

豐岡町黑須

兒玉今五郎

豐岡町黑須

寶

寶心堂印鋪

貨物自動車運輸

豐岡町扇屋

岡

山岡自動車部

大

齋藤自動車部

卜

組豐岡共榮社自動車部

米穀荒物雜貨

西木屋高次郎

豐岡町扇屋

狹山銘茶  
繭絲商

繁田惣吉

豐岡町黒須  
振替東京四四四一九番  
電略マルナカ(又ハナカ)

豐岡町扇町屋

清水屋洋品店

酒類醬油

今柳屋商店

豐岡町扇町屋

小間物

洋物

雜貨

學校用品

龜 半 屋

水村龜太郎商店

豐岡町黒須

青物果實商

岡野義三

豐岡町黒須

諸車製造

杉田茂吉

豐岡町黒須



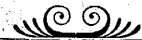
類炭薪・スクーコ炭石種各

店約特坑炭城磐

# 店炭石崎山

須黑町岡豊

不穀佳改工電石變發無電シ避揚各  
 二類香良事話油發線氣フヤ水種  
 式自香麥事話油發線氣フヤ水種  
 精動麥製請電動電用ト雷ボ電  
 穀燥造請電動電用ト雷ボ電  
 機機造請電動電用ト雷ボ電  
 機機造請電動電用ト雷ボ電



# 店商氣電田須

須黑町岡豊

各國自轉車販賣

# 高橋自轉車店

豊岡町扇町屋

諸工事請負

# 諸井榮太郎

豊岡町黒須

雨

宮

理

髮

店



雨宮半造

須黑町岡豊

諸金物製造販賣

かじや

栗原金物店

栗原 初太 郎  
豊岡 町黒 須

狭山銘茶

問屋

當摩商店

豊岡町黒須

振替東京三六二九九番

電話 (マルト)

繭 絲

各種賣藥

藥用ブドウ酒

小林商店

豊岡町黒須

和洋

御菓子

蒸菓子製造

岡埜玉泉堂

豊岡町黒須

豊岡町扇町屋

伊勢儀酒店

豐岡町黒須

# 豊岡演藝俱樂部

足

袋

製造元

引

股

金樹屋號

## 山影商店

豊岡町黒須

麻裏下駄製造販賣

### 中村履物店

豊岡町扇町屋

牛豚肉  
茶桑商

### 淺見屋商店

豊岡町扇町屋

豊岡町扇町屋

# 豊岡町青物市場

絹綿交織物  
製造業

## 石川織物工場

石川 太助

豊岡町黒須

## 砂長商店

豊岡町扇町屋

瀬戸物商

## 齊藤彦吉

豊岡町扇町屋

絲 繭 足 袋



豐 岡 町 黑 須

鹽 魚 乾 物 商

桐 生 屋 支 店

豐 岡 町 黑 須

下 小 豐  
駒 川 岡  
製 造 販 賣  
商 店  
町 黑 須

フオード自動車  
及び各種部品  
ダンロップタイヤ

特 約 店

豐 岡 町 黑 須

野 口 商 店

中 央 自 動 車 株 式 會 社 代 理 店



書籍玩具  
文房具

# 金子商店

豊岡町黒須



洋服 洋品、雜貨

# 三浦屋

豊岡町扇町屋

ブリキ細工  
金物る  
ガラス一式

# 平本商店

豊岡町黒須

豊岡町扇町屋

藝妓屋

# 藤も空

妻吉  
やらこ

豊岡町扇町屋

# 吉野理髮店

豊岡町扇町屋

學校用品  
炭雜貨  
**田島仙太郎**

優 良 製 麵

商 標 蒙

豐 水 製 麵 所

清 水 屋 支 店  
豐 岡 町 黑 須

御 料 理

す し

魚 金

仕 出 し

豐 岡 町 扇 町 屋

和 蒸 菓 子 製 造

石 田 菓 子 店

豐 岡 町 扇 町 屋

自 動 車 修 理

オ ー ト バ イ 機 械 修 理

瓦 斯 熔 接

黑 須 鐵 工 場

主 大 森 勝 三 郎

豐 岡 町 黑 須

青 物 土 物 煙 草

八 百 銀

電 氣 器 具 販 賣 部

播 せ ん べ い 製 造 販 賣

小 川 邦 次

絹綿交織  
新銘仙  
新湖月  
製造元

# 水菊織物工場

水村菊藏  
豊岡町黒須

絹綿交織  
綾織物製造

# 水村織物工場

主水村運平  
豊岡町黒須

美術履物卸

# 中里良吉

豊岡町扇町屋

和洋御菓子  
製造卸小賣

# 柘清菓子店

豊岡町黒須



吳服太物

田 豐

野 岡

屋 町

吳 黑

畚

服店

化粧品

須

酒類醬油  
炭商

中村福次郎

豐岡町黑須

土木請負鶴川組

主在 石川市平

豐岡町黑須

吳服

太物

洋物

瀬戸物

雜貨

須田商店

須 黑 町 岡 豐

豐岡町黑須

榮樂軒理髮店

細田庄次郎

豐岡町黑須

渡邊飲食店

豊岡町扇町屋

株式會社  
坂戸銀行豊岡支店

西洋料理  
支那料理

カフエー柳

豊岡町黒須

雛人形  
羽子板  
製造販賣  
弓破魔

# 本山商店

主 本山熊十郎

豐岡町黒須

下駄製造販賣

# 下駄清商店

豐岡町黒須

振篋製造專門

# 山畑四郎

豐岡町黒須

店引取社會式株送運治明

店引取社會式株送運通新

前驛町岡豊  線野藏武

# 尾崎運送店豊岡支店

番九六七四京東座口替振  
番九十岡豊話電

和洋酒類  
油類商  
豐岡町黒須

# 中村商店

店主 中村龍郎

豐岡町扇町屋

# 内村新聞店

設 備 完 全

技 術 優 秀

篠原寫真館

本店 飯能町

支店 豊岡町

米 雜 穀  
ソ バ 粉  
販 賣

野村精米所

主 野村伊平

豊岡町黒須

和 洋 酒 類  
味 噌 醬 油



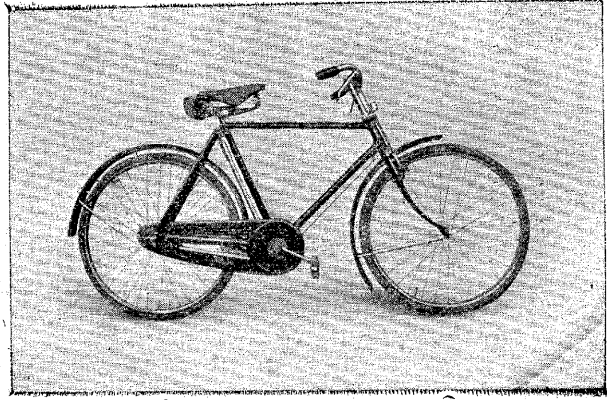
醬油特約販賣

松本酒店

主 松本石太郎

豊岡町黒須

貴重書



薪炭荒物商

山畑藤吉

豊岡町黒須

各國自轉車販賣  
附屬品並修繕

齋藤自轉車店

豊岡町黒須

御菓子司

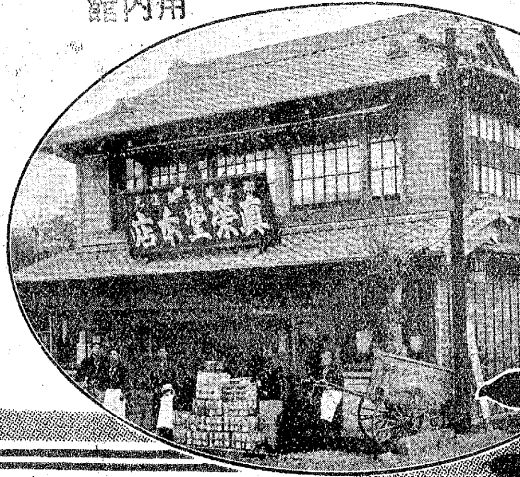
真榮堂本店

豊録商標



茶羊羹製造元

庫内用



大正十四年四月五日印刷  
大正十四年四月十日發行

編輯人 康用 古谷喜十郎

印刷人 書館内 井ヶ田西之助

印刷所 明治堂印刷所

發行所 豊岡商工會

